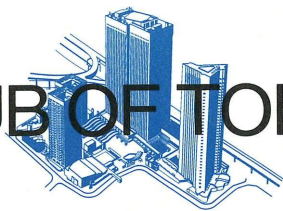




# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



## Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

### ROTARY 2001 : CREATE AWARENESS— TAKE ACTION

#### 「ロータリー2001：意識を喚起し一進んで行動を」

2000～2001年度・国際ロータリーテーマ/フランク・J・デブリン会長

#### 「さわやかに全員参加で行動を」

2000～2001年度・東京新南ロータリークラブテーマ/山下忠治会長

本日の例会 10月20日(金) 第675回例会

卓話 「最近の企業の不祥事とロータリーの職業奉仕」

元会長 武下 朗 君

本日のロータリーソング 「四つのテスト」「里の秋」

本日の演奏 ピアノ 泉 晶子 さん

バッハ 平均律クラヴィーア曲集第2巻より

ショパン「24の前奏曲」より

先週報告 10月12日(木) 第674回例会

第2750地区川尻政輝ガバナー公式訪問

東京南・東京新南合同例会 会場 東京會館



#### ◎卓話「公式訪問の挨拶」

第2750地区ガバナー

川尻 政輝 氏

私はガバナーエレクトの拝命をいただいた後、地区はどうすれば新風を吹き込めるか、地区と各クラブの一体化・人材の交流をどうすれば取れるか、を二つの柱にして取り組んできました。私は今年の2月3日から10日まで、米国カリフォルニア州アナハイムで開催された国際協議会に出席し、8日間のカン詰め教育を受けました。全世界から529人のガバナーエレクトが夫妻で参加し、研修内容は大変充実しており、事前の情報よりも楽しい意義のある時をすごせました。ロータリーの奉仕の心と奉仕活動の実践について多くのことを学ぶ事ができました。

本年度のRIのテーマ「意識を喚起し一進んで行動を」(Create Awareness Take Action)は簡潔であり、しかも日本人には理解しやすいテーマです。「一進んで行動を」に重点が置かれていますが、意識と行動は不可分のもので、問題を意識する事が問題解決及び奉仕活動には欠かせない事です。

私たちが、クラブで最も「意識を喚起し一進んで行動を」しなければならない問題は、第一に例会運営はこのままでいいのかということです。例会は会員にとって唯一の「奉仕の心と奉仕の実践を学ぶ」場所です。「ロータリーの例会が人生の道場」「ロータリーの例会は卒業のない大学」といわれるように、例会は会員がお互いに切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練の場の役割を持っています。今例会がこのような役割をどの程度果たしているのでしょうか。この事に「意識を喚起し」、例会が本来の役割を果たすように皆さんが進んで行動をして下さい。

次は会員減少の問題です。私がガバナーになってから、日本国内で約3,300名、第2750地区で約140名が減少しています。この原因はロータリーに魅力がなくなっている

からです。ホーム例会が機能していないのです。この問題を「意識を喚起し一進んで行動を」とらないと、ロータリーの今後の発展はありません。

三つ目は地域社会でどのような行動をしてきたかです。ロータリー側の意識と、地域の受け止め方には余りにも格差がありすぎ、実はロータリー側の片思いです。ロータリーのイメージを地域社会で高める努力をしなければなりません。ロータリーは地域社会のいろいろな団体や組織とパートナーシップを築いて奉仕活動をする必要があります。

最後に申し上げたい事は、ロータリーは3世代が同居しており、考え方や人生観が違うのは当然。しかしロータリーには世代を超えた「奉仕の哲学」があります。このロータリーの心を共有し、東京南・新南の発展に尽力してください。



◎雑誌委員会報告(立林委員長)「ロータリーの友」10月号の紹介  
横組P.4「障害者に仕事を」、一読をお勧め致します。

#### ◎出席報告

10月6日(金)

・会員68名/出席46名/欠席22名(出席規定免除者6名)

・ゲスト/会友・沖宏之君、交換学生・マディさん

10月12日(木)

・会員68名/出席36名/欠席32名(出席規定免除者6名)



10月12日/18件 59,000円

2000～2001年度累計617,000円

多額の御寄付を有難うございました。

島幸俊(東京南)/ガバナー公式訪問・合同例会の準備等で大変お世話になりました。山下忠治/ガバナー公式訪問を私どものクラブのスポンサーである南RCの皆様とご一緒に受けることの仕合わせを感じております。武下朗、岩瀬秀郎、小杉真史、大日方真、尾関武男、鈴木重徳、横山秀明、相澤成憲、四分一勝、清原元輔/ガバナーをお迎えして、合同例会を祝して。石坂二郎/今日はソングリーダー、元気よく皆さんお願いします。福島賢哉/長澤泰治様、下村渥様、今日はお世話になります。村山公士/白川さんのノーベル賞受賞にカンバイ。柴田陽三/秋晴れの良い日になりました。本嶋公民/河原先生、ありがとうございました。先週はお休みを頂きました。石井謙次/小杉さん、ごころう様です。

\*紙面の都合上、コメントを一部省略纏めさせて頂きました

次週予告 10月27日 第676回例会

◎卓話予定

「グローバルゼーションと日本の対応」

元通産次官 電通総研研究所長 福川 伸次 氏



## ◎ガバナー補佐公式訪問 第3回クラブ協議会

### テーマ「職業奉仕と私」

日時 2000年10月6日(金) 例会前11:00～12:00

場所 東京全日空ホテル 地階 瑞雲の間

出席者 来賓4名・会員28名

#### 今日の協議会について

山下会長

今日のクラブ協議会のテーマは、職業奉仕月間に因みまして「職業奉仕と私」です。職業奉仕は誰が言いましたか「ロータリーの金看板」であると言われております。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕そして国際奉仕。いわゆる四大奉仕の中で職業奉仕は根幹をなすものです。職業奉仕は、ロータリーの綱領の中で「事業および専門職務の道徳的水準を高めること」と述べられております。しかし、近年、新聞等で報道されているように各業種で職業倫理が欠如しているという由々しい社会問題が起きています。

今日は、この職業倫理を含め、職業奉仕をいろんな角度から皆様が常日頃表入ること、考えていることを開陳していただきますようお願い申し上げます。

#### 職業奉仕について

横山職業奉仕委員長

職業奉仕は、ロータリーの歴史100年の中で時系列に「ロータリーの綱領」(1935年)「四つのテスト」(1943年)「職業奉仕に関する声明」(1987～1988年)「職業宣言」(1989年)について理解を深めることで、現在の課題を解決する多くのヒントがあると思います。

本日のテーマ「職業奉仕と私」としたのは、私の視点で職業奉仕を取り上げる事が、難しくなりがちな職業奉仕について率直で身近にとらえられると考えたからです。

日本の社会の枠組みは冷戦構造の終焉やバブルの崩壊で大きく変わり、人々の価値観は揺らいでいます。そんな環境変化の中で当クラブも10年の節目を過ぎました。次の20周年を心から祝うために、クラブとして「求心力ある何か」を明確にしたいものです。

今回のクラブ協議会ではそのような観点から、年齢・職業・会員層などさまざまな違いはあっても何らかの価値をロータリーに見出している会員相互が、私は…という視点で、率直かつ柔軟で建設的な意見交換ができればと思っています。

#### 「職業奉仕に関するアンケート調査」から報告

小杉職業奉仕副委員長

昨年度好評だったアンケートを若干角度を変え再度実施しました。会員67名中回答者31名(回答率46.3%)

設問1. 彼方は職業奉仕についてどのような考えをお持ちですか。2. 彼方と職業奉仕との係わりは。3. 職業奉仕における今日の課題として「地球環境保全」「職業倫理」が叫ばれておりますが、彼方のご意見をお聞かせ下さい。4. 職業奉仕について当クラブのあるべき姿等(地域問題を含めた)何かご提言がございましたらお聞かせください。

アンケート結果から、回答者全員は「職業奉仕」を良く理解しており、自身の職場で実践されていると思われます。特に、「四つのテスト」はすべての項目で出てきていて、常日頃から身近に実行されている事が伺われます。職業奉仕に関するアンケートに基づいて次の会員から意見発表がありました。

#### 「建築界のモラル」について

福島会員(入会/97.7 職業分類/建築内装設計)

バブル以降、建築界のモラルの低下が業界の信用を失墜させ、業界のモラルの回復には匠・職人気質を取り戻す必要があり、技術者倫理の重要性を徹底していくことが大切。結局、「当り前のことを当り前に行うこと」これが本来のモラルであり、ロータリーでの職業奉仕ではないかと考える。「四つのテスト」は、まさに職業倫理として明快に言いえていていると思います。「業界水準とルール」について

小杉(修)会員(入会/97.4 職業分類/出版)

社会のルールの中に、その職業が存在し、これを守ることで

## 東京新南ロータリークラブ

会長: 山下忠治 副会長: 加藤昌明 幹事: 梶内滋男

事務局: 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日: 毎週金曜日 12時30分

例会場: 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

世代を越えて商売が出来るのではないか。それは出版業界でも同様である。出版業界において問題意識は二つあると考えている。一つは、「商品の適正化」、二つは「出版と倫理」であり有害図書問題は常に出版界に問われている問題である。儲かる事ならどんなことでもやると言うのではなく、業界の水準を高めていく努力が必要だと思います。

#### 「環境保全」について

開発会員(入会/96.12 職業分類/複写機製造)

所属企業(富士ゼロックス)では、10年前に環境に関し二つの目標を設定。一つは製品の徹底的なリサイクル活動の実現。二つはゼロミッション、工場・事務所から産業廃棄物を排出しない。現在この目標はほぼ達成している。ロータリーに入会し、「四つのテスト」や「奉仕」の理念を学び、企業人として自ら努力してきたことが間違いでなかったと思います。そこでロータリアンは何をすべきかの提案ですが①社会人・消費者としてすぐ出来ることをやる。②ロータリアンの一人一人がNPOやNGO活動に自ら参画、奉仕活動を支援する。③地区またはクラブとして継続出来る環境保全活動をする。

#### 「教育」について

荻野会員(入会/00.6 職業分類/社会科学研究)

大学教授として、近年大学での共通した問題は、学生の私語が非常に多い事である。共同社会の構成員として最低限必要なことは他人に迷惑をかけることですが、その認識に欠ける学生が少なくありません。要因は種々あると思うが、まずそれを是正するための行動をとるべきと考えます。このため私の授業については厳しく注意または退場を実行し、彼等に常識ある言動を促しています。

#### 「職業奉仕についての当クラブの在り方」について

吉田会員(入会/86.10 チャーターマン 職業分類/学校用品)

入会5年ぐらいから、職業奉仕がロータリーの金看板であり、これを大切にすること、ロータリーの本質ということを経々理解できるようになってきました。職業奉仕を理解する上で入会5年が目安と考えられると思う。当クラブ67名の内5年未満1/3、5年以上が2/3の割合で、職業奉仕・ロータリー等の何たるかを理解出来るのは会員の内2/3、1/3の会員は多分理解出来ないのではと思います。ここが理解出来始めて、自分の職場に帰って行動に移していけるのではないかと思います。当クラブの職業奉仕の在り方を考えると、根気良く粘り強く、ロータリーの本質・職業奉仕についての理解を深めながら、行動の実践例(本日の四名の発言者例など)を示していくということが、大切なのではないかと考えています。

#### 講評

馬場ガバナー補佐

ガバナー補佐公式訪問を既に10クラブ終り、クラブ毎に色々の協議会がありました。理事・役員のための協議会、理事・役員及び新入会員による協議会、また全会員によるフォーラム方式の協議会等ですが、新南RCはフォーラム方式に当るやり方と思います。今日の講評は自分のクラブでもあり、松本地区副幹事に感想をお願いします。

#### 講評

松本地区副幹事

新南RCは大変真面目で、良く勉強されていることが判りました。多くのクラブでは職業奉仕は難しく敬遠しがちなテーマですが、真正面からとらえていらっしゃることに感銘を受けました。職業奉仕はロータリーの金看板です。ますます勉強をして下さい。基本に戻らせていただいたような今日の協議会でした。



#### <会報委員> 下線は、今週の担当

青野 信次、福島 賢哉、石川 泰啓  
清原 元輔、本嶋 公民、村山 公士  
庄司 泰典、高須 康有、田中 武  
土屋 東一、圓谷 正和、山川 政樹